

平成 21 年度文化庁委託
「オペラを中心とした音楽情報・資料の収集および活用に関する調査研究」
調査の概要

■調査の背景・目的

現在、我が国で創作上演されたオペラ作品は約 800 にのぼる。これらの作品に関する資料は日本全国に散在しており、作曲家、団体・機関、ホール、図書館・資料館など、それぞれが個別に管理・保管している。オペラは総合芸術であることから、関連資料は「総譜の手稿譜」「オーケストラ用パート譜」「合唱譜」「台本」「演出資料」など多岐にわたる。出版機能が整備され、音楽出版社などが作品管理を行っている海外のケースに比べ、我が国ではこれらの所在の把握に困難が伴う。また、上演に関する権利については作曲家本人や出版社が保有するものなど、様々なケースがあり、再演をおこなうための情報整備が長らく要請されてきた。

本調査は、時間とともに散逸しつつある日本のオペラ関係資料の所在を可能な限り把握し整備することで、日本のオペラ作品の上演機会の拡大と舞台芸術振興に寄与することを目的とする。

参考文献

『日本のオペラ年鑑』各年版、日本オペラ連盟、昭和音楽大学オペラ研究所特別協力、1995～2008 年。
石田麻子『日本のオペラ作品～創作の歴史と今後の展開に関する考察～』、昭和音楽大学、2005 年。

■調査の対象

下記の2条件のいずれか、もしくは両方に該当する作品およびその上演に関する資料ならびに情報

I. 日本人作曲家オペラ作品

II. 原作の歌詞が日本語で書かれたオペラ作品

■調査の方法

アンケート調査、実地調査、刊行済みの目録等によるデータ収集

■調査のスケジュール

アンケート調査、実地調査、文献収集	平成 21 年 10 月～平成 21 年 11 月
データ入力・整理	平成 21 年 11 月～平成 22 年 3 月
報告書作成	平成 22 年 3 月末

■調査の成果について

調査の成果は報告書として発行し、広く一般に共有できる基礎データとする。
調査にご協力いただいた機関には報告書を送付する。

■調査実施者

昭和音楽大学舞台芸術センター(神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-16-6)

調査委員 石田 麻子	昭和音楽大学 准教授(調査代表者)
大賀 寛	日本オペラ協会 総監督
菊池 一男	社団法人日本演奏連盟 事務局長
倉田 輝昭	特定非営利活動法人ミュージックガーデン・横浜 理事長
上妻 重之	財団法人民主音楽協会 民音音楽博物館館長代行
田辺 正行	社団法人全日本合唱連盟 事務局長
仁科 岡彦	財団法人日本オペラ振興会 事業部次長

以上